

「仕事と生活についての全国調査」へのご協力をお願い

わたくしども「社会階層と社会移動研究会」(研究代表者 東京大学社会科学研究所教授 藤原翔・永吉希久子)では、文部科学省所管の日本学術振興会から助成をうけて、少子高齢化と多様化が進む日本社会の実態と、格差にかんする問題を明らかにするために、全国の20歳以上79歳以下の方々を対象に「仕事と生活についての全国調査」を実施することにいたしました。突然のお願いではありますが、皆様のご協力をいただきたく、勝手ながらアンケート用紙をお送りいたしました。対象となる皆様は、日本全国の市区町村の「住民基本台帳」からくじ引きのような方法で、ランダムに選ばせていただきました。住民基本台帳の閲覧は、住民基本台帳法に基づき、各自治体の許可をえて行っています。このアンケートフォームは、外国籍の方向けのものです。

回答は30分ほどです。ご協力いただけます場合は、お忙しいところ、誠に恐れいりますが、同封のアンケート用紙にご記入のうえ、10月19日(日)までに同封の封筒にて送り返してください。切手を貼る必要はありません。オンラインでの回答も可能です。同封したアンケート用紙の言語のほか、インドネシア語、ネパール語の調査画面もございます。詳しくは、別紙「オンラインでの回答方法」をご覧ください。アンケートにご協力いただいた皆様には、1000円相当のQUOカードまたはデジコ(AmazonギフトカードやPayPayマネーライトなどに交換できるデジタルギフトカード)をお送りいたします。お忙しいことと存じますが、どうかアンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力のほど、心よりお願い申し上げます。

*キャンペーン主催:国立大学法人 東京大学 社会科学研究所、株式会社サーベイリサーチセンター

本キャンペーンについてのお問い合わせは Amazon ではお受けしておりません。調査事務局までお願いします。

*Amazon、Amazon.co.jp およびそれらのロゴは Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

よくある質問

Q1. 私の名前と住所をどこで入手したのですか。

A1. 全国にお住まいの方の中から、住民基本台帳を用いてランダムに選びました。まず、市区町村をランダムに選びます。そして、選ばれた市区町村の役所に、調査の概要と目的を説明し、正式な手続きにより、住民基本台帳を閲覧させていただきました。

Q2. 私のプライバシーは確保されますか。

A2. はい。アンケートへの回答は数値に変換され、コンピュータで統計処理されます。このためアンケートのデータから対象者の個人情報をひきだすことは不可能です。データを学術研究以外の目的に使用いたしません。アンケートをお願いした方のご住所、お名前は調査

終了後、廃棄いたします。

Q3. 答えたくない・わからない質問には、答えなくていいですか。

A3. はい。答えたくない質問は、無理にお答えいただかなくても大丈夫です。

Q4. 家族が私のかわりに答えてもいいですか。

A4. いいえ。アンケートの対象者となられたあなた様(宛名の方)がお答えください。

Q5. 必ずアンケートに協力しなければいけないのですか。

A5. このアンケートは回答を強制するものではありません。あなた様のご意志でご判断ください。本研究の目的をご理解いただき、ご協力いただければ誠に幸いです

Q6. このアンケートの結果はどのように使われるのですか。

A6. これまでの調査の成果は下にあげたものをはじめ、さまざまな本や論文で使われたほか、メディアでもとりあげられ、日本社会の実態の理解に役立ってきました。このアンケートの結果は、社会移動と社会階層研究会のホームページ(<https://ssm2025.jp/>)にて公開予定です。



オンラインでの回答方法

- ① 「オンラインでの回答方法」に書いてある QRコードまたは URL からアンケートサイトにアクセスしてください。PC、スマートフォン、タブレットからアクセスできます。
- ② ID（アクセスコード）入力画面の空欄に、「オンラインでの回答方法」に書いてあるID（アクセスコード、半角数字8ケタ）を入力してください。

この番号

ID

ここに 入力

ログインしてください。

ここに8桁の数字を入力してください。

日本語

→

調査画面

- ③ 画面の案内にしたがって回答をお願いいたします。